

◆先輩からのアドバイス◆

ゼミでの心構え

皆さんはもう、ゼミには出席していますか？所属によっては、1年生から出席している方もいたりするのでしょうか。ゼミと通常の講義の大きな違いは、持っている課題やテーマが出席者によって異なることにあると考えています。つまり、同じゼミに籍を置く仲間であっても、自分の研究とは遠いところで研究をしている人がいたりするのです。実はこれ、ゼミという形式の持つ素晴らしい長所の1つなのです。

例えば、私の所属していたゼミには色々なテーマを持つ仲間がいました。「家族」「笑い」「虫」「証言」「図書館」「トイレ」「百合」「スクールカースト」……かなりざっくりとですが、こんなテーマを持った人たちが同じテーブルを囲んで議論をしていました。一見すると遠いどころか関係がなさそうなテーマ群ですよ。ですが同じゼミに所属している以上、「遠い」ことはあっても、「関係がない」ということでは決してないと思うのです。少なくとも、私はそうでした。どんなテーマでも、どんな興味でも、どんな問題意識でも、それは自分にはない視点だった、ということが多分にあります。このような物事の捉え方は、もしかするとゼミという枠組みすらも越えていくかもしれません。どんなことからでも勉強できることはある、そんな心構えをもってゼミや講義には臨みたいですね。

(人文社会科学研究科 院生)